

**【がん種】** [精巣腫瘍](#)  
**【レジメン名】** VelP  
**【登録番号】** 201704  
**【1コースの期間】** 3週間  
**【総コース数】** 進行・再発:4コースまで  
**【催吐性リスク】** 高度:シスプラチン、中等度:イホマイド、最小度:エクザール  
**【抗がん剤の組織障害性】** ビシカント(起壊死性):エクザール(漏出時の冷却禁止、漏出時のステロイド局注禁止)、イリタント(炎症性):イホマイド、シスプラチン  
**【投与量に制限のある薬剤】** なし  
**【主な有害事象】** 編集中

**【必要な検査】** 編集中  
**【根拠論文】** J Clin Oncol 16:2500-2504, 1998.

**【点滴の時間】** [day1~]121時間  
**【費用】** 編集中  
**【その他】** 対象患者:胚細胞腫瘍, イホマイド:調製後6時間以内に投与を終了する.

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日											
					1	2	3	4	5	6	...	21				
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○	○	○	○	○							
2	ソルデム3A 500mL 硫酸Mg補正液 20mEq/20mL	1 B 0.4 A	側管	90分 AM8:00~	○	○	○	○	○							
3	ソルデム1 500mL	1 B	側管	90分	○	○	○	○	○							
4	生理食塩液 250mL フロイメド点滴静注用 150mg	1 B 1 V	側管	30分	○											
5	生理食塩液 100mL アロキン静注 0.75mg デカドロン注射液 1.65mg/0.5mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 1 V 2 A 1 V	側管	30分	○											
6	生理食塩液 100mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 1 V	側管	30分		○										
7	生理食塩液 100mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 2 V	側管	30分			○	○	○							
8	生理食塩液 100mL ウロミテキサン注100mg 9のイホマイドと同時に開始	1 B 400 mg/m2	側管	30分 イホマイド投与量の1/3	○	○	○	○	○							
9	生理食塩液 500mL 注射用イホマイド 8のウロミテキサンと同時に開始	1 B 1200 mg/m2	側管	2時間	○	○	○	○	○							
10	生理食塩液 100mL	1 B	側管	15分	○	○	○	○	○							
11	生理食塩液 50mL ダイアモックス注射用 500mg	1 V 1 A	側管	15分	○	○	○	○	○							
12	生理食塩液 50mL	1 B	側管	全開	○	○	○	○	○							
13	生理食塩液 250mL シスプラチン点滴静注「マルコ」	1 B 20 mg/m2	側管	90分 遮光	○	○	○	○	○							
14	生理食塩液 100mL ウロミテキサン注100mg イホマイド開始から約4時間後	1 B 400 mg/m2	側管	30分 イホマイド投与量の1/3	○	○	○	○	○							
15	生理食塩液 50mL エクザール注射用	1 B 0.11 mg/kg	側管	全開	○	○										
16	ソルデム3A 500mL	1 B	メイン	24時間 残破棄	○	○	○	○								
17	ソルデム3A 500mL	1 B	メイン	24時間 翌日AM8:00で終了					○							
18	生理食塩液 100mL ウロミテキサン注100mg イホマイド開始から約8時間後	1 B 400 mg/m2	側管	30分 イホマイド投与量の1/3	○	○	○	○	○							